

「私は大丈夫」とは限らない～若者を狙う詐欺の手口～

現在、ネットやSNSを入り口とした犯罪が多く発生しています。

闇バイトなどの若者を犯罪の実行者に勧誘するものだけではなく、金品をだましとろうとする詐欺の被害にあう若者も増えています。今回はそのような詐欺の手口と対策について紹介します。

若者も狙われています！

高齢者をターゲットに、電話などで身内や知り合いを装って金銭をだましとる「オレオレ詐欺」の被害をニュース等で見かけますが、最近では、SNSなどによる非対面のコミュニケーションに抵抗のない若者をターゲットにした詐欺事件も多く発生しています。

!!重要!! 会員情報の確認をお願いします

通信販売会社等を装い、会員情報の確認等としてメールに記載されているリンク先に誘導し、IDやパスワード、クレジットカード情報、氏名、住所等の入力を求められます。

これは、偽のサイトに誘導し、あなたの個人情報を抜き取る **フィッシング詐欺** です。
情報を入力する前に確実に本物と確信できるメールアドレスやURLと届いたメールを比べてみましょう。

あなたの事が好きだから…

SNSで「好き」「一緒にになりたい」と恋愛感情を思わせる言葉を投げかけ、相手が好意をもったとわかると、「将来に備えた投資」「●●のためにお金が必要」などと金銭を要求します。

好意を抱かせるような言葉とともに金銭を求めてきている場合は、**ロマンス詐欺**を疑いましょう。

相手の示している好意が本物であるかどうかを見極めることも大切ですが、**金銭を要求された場合には、すぐに要求に応じず、必ず周りの人に相談をしてください。**

カードを買って、コードを教えて

インターネット事業者や裁判所を名乗り、メールなどで「未払いの料金がある」として、「支払わないと裁判になる」「家まで料金の回収に行く」と脅され、プリペイドカードを購入してコード番号を教えるよう求められます。

これは、よくある**架空請求詐欺**の手口ですが、「裁判」や「家まで行く」という言葉であなたを焦らせ、正しい判断をできなくさせ、金銭をだましとることが目的です。

事業者や裁判所等が未納料金の支払いにプリペイドカードの購入を求めることはありません。

「こちら〇〇県警××課」

SNSで警察官を名乗る者から、「あなたの口座が犯罪に使われている」「携帯電話が不正使用されている」などのメッセージが届き、「無実の証明」や「資産保護」の費用として金銭を振り込ませます。

中には、警察官を名乗る人物が、ビデオ通話で偽の警察手帳や逮捕状を見せてきたり、画像でそれらを送信してくることもあります。

しかし、**警察は、SNSで連絡することも、警察手帳等の画像を送信することも、捜査等の目的で金銭を要求することはありません。**これらは全て**ニセ警察詐欺**です。

今日からできること

①お金・個人情報の話が出たらストップ！

仲良くなっても、ネットで出会った人を信用しすぎることは危険です。

②「すぐやらないと危険」は詐欺の合図

焦らず、落ち着いて確認をしましょう。焦ることで正しい判断ができなくなります。

③困った時は必ず誰かに相談

怪しい、何か変だな？と思ったらすぐに家族や先生、警察などに相談しましょう。

○主な相談先

最寄りの警察署、または警察安全相談室 電話 #9110または 058-272-9110
 岐阜県警察本部ホームページ <https://www.pref.gifu.lg.jp/site/police/>

過去の啓発資料については、URL、二次元コードからご覧いただけます。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/393698.html>

岐阜県教育委員会 学校安全課／岐阜県子ども・女性部 私学振興課

Zeal Communications inc. All Rights Reserved.

